



業界慣例の落とし穴と回避策 五輪談合事件や人気ドラマ「競争の番人」から学ぶ

- ◇ 講師：中里浩氏（東京経済大学 現代法学部 教授／元公正取引委員会）
- ◇ 日時：2023年4月24日（月）18:30-20:00
- ◇ 場所：東京都中央区銀座 1-19-13 丸美屋ビル 6F

「え？前任者から引き継いだやり方が違法？罰金？公正取引委員会が告発？」こんなことがある日突然起こるリスクがあります。東京2020オリンピック・パラリンピックをめぐる入札談合事件について、公正取引委員会（通称：公取）は広告最大手電通、博報堂 DY ホールディングス、東急エージェンシー等6社、大会組織委員会の元次長と6社の幹部7名を独占禁止法違反の疑いで刑事告発しました。会社や個人が公取から刑事告発されるってどういうことなのでしょう。報道されるのは大企業ですが、中小企業においても他人事ではありません。昨年フジテレビで放映された公取を舞台とした「競争の番人」を視聴すると身近なリスクだと実感できるでしょう。今回は、東京経済大学教授（元公正取引委員会）の中里浩氏に五輪談合事件を事例としてリスクがどこにあるのか、回避の方法について解説いただきます。



- ＜主な内容＞
- 1 二つの事件にみる談合・カルテルの違法性
東京五輪談合事件 | 電力カルテル事件
 - 2 違反事件の調査手続の流れはどのようなものか
 - 3 仮に違反した場合の措置はどのようなものか
 - 4 違反しないためにどうしたらよいか、どうしたら違反行為による不利益を可能な限り回避できるのか（特に課徴金減免制度の位置付け）

《講師プロフィール》中里浩氏

1971年生まれ、千葉県出身。1995年早稲田大学法学部卒、同公正取引委員会入局。2002年カナダ・トロント大学 LL.M（法学修士）修了、防衛省防衛監察本部（出向）、公正取引委員会官房国際課企画官、官房審決訟務室長、審査局情報管理室長、審査局企画室長、審査局第四審査長、犯則審査部第二特別審査長を経て、2022年より東京経済大学現代法学部教授、専門は独占禁止法及び競争政策。公正取引委員会では審査長として大型カルテル・談合事件の事件指揮に当たったほか、数多くの独占禁止法違反事件の法的アドバイスに携わった。また、東京五輪談合事件ではNHKニュース7、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、共同通信、AERAなど数多くのメディア（計12回）に有識者コメントを掲出。また『新経済刑法入門（第3版）』（成文堂、2020年）中、「第15章 独占禁止法違反の犯罪」等、公取委事務総局職員時代から独占禁止法違反事件や調査手続に関する多数の論文・著書を執筆。

セミナー参加費

- マスター・CRO・シニア会員・・・無料
- 法人会員・・・無料
- 特定会員（FRM・BCM-RM・RREM リスク診断士・FP・保険）・・・2,000円（税込）
- 一般会員・・・2,500円（税込）
- 非会員・・・5,000円（税込）

- ☆ 参加費は、当日受付にてお支払いください。
- ☆ ご自身のSNSでの紹介は歓迎です。※セミナー終了後、懇親会があります。（実費負担）
- ☆ 当日会場での録音・ビデオ撮影はお断り致しております。

【後援】 創新ネットシティ

FAX : 03-6700-0966

※ご記入いただいたデータは、参加申込手続処理、オープンセミナーなど当協会関連の今後のセミナー・講座のご案内ならびにリスクマネジメント情報提供のために使用いたします。

お名前						紹介者	
会員種別	マスター	シニア	特定会員	一般会員	法人会員	非会員	
e-mail アドレス				連絡先 TEL & FAX	TEL :	FAX :	